

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（26年4月～8月実績、9月～11月見通し）

	9月	10月	11月
※航空会社ヒアリングならびに沖縄県内発着便の提供座席数より推測			
国内空路			
海外空路			
※クルーズ客船の寄港予定より推測			
国内海路			
海外海路			

〈OCVB観光天気予報〉

対前年
105%以上水準対前年
100%以上-105%未満対前年
95%以上-100%未満対前年
90%以上-95%未満対前年
90%未満水準

			4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月(実績)	8月(実績)	9月(予測)	上期計	10月(予測)	11月(予測)	9-11月
2026年度	空路	国内	639,200	613,200	576,600	691,500	681,900	700,000	3,902,400	726,000	664,000	2,090,000
		海外	192,600	190,400	176,200	197,200	191,800	214,000	1,162,200	219,000	208,000	641,000
		合計	831,800	803,600	752,800	888,700	873,700	914,000	5,064,600	945,000	872,000	2,731,000
	海路	国内	6,100	4,600	3,800	2,300	4,500	2,100	23,400	2,000	6,600	10,700
		海外	67,300	29,900	48,400	72,900	45,700	30,300	294,500	63,000	54,500	147,800
		合計	73,400	34,500	52,200	75,200	50,200	32,400	317,900	65,000	61,100	158,500
	空路海路合計		905,200	838,100	805,000	963,900	923,900	946,400	5,382,500	1,010,000	933,100	2,889,500
	国内合計		645,300	617,800	580,400	693,800	686,400	702,100	3,925,800	728,000	670,600	2,100,700
	海外合計		259,900	220,300	224,600	270,100	237,500	244,300	1,456,700	282,000	262,500	788,800
前年度比	空路	国内	103.4%	104.2%	96.8%	98.5%	87.4%	102.7%	98.4%	100.7%	100.5%	101.3%
		海外	114.4%	114.2%	103.8%	111.0%	95.0%	123.6%	109.9%	120.5%	132.2%	125.1%
		合計	105.8%	106.4%	98.3%	101.0%	88.9%	106.9%	100.8%	104.7%	106.6%	106.0%
	海路	国内	203.3%	36.2%	97.4%	100.0%	145.2%	50.0%	80.1%	51.3%	366.7%	108.1%
		海外	72.1%	39.9%	69.7%	110.8%	51.1%	33.8%	61.0%	79.5%	73.3%	60.7%
		合計	76.1%	39.4%	71.2%	110.4%	54.3%	34.5%	62.1%	78.2%	80.2%	62.6%
	空路海路合計		102.6%	99.5%	96.0%	101.7%	86.0%	99.8%	97.2%	102.4%	104.3%	102.1%
	国内合計		104%	103%	97%	99%	88%	102%	98%	100%	101%	101%
	海外合計		99%	91%	94%	111%	82%	93%	95%	108%	113%	104%

■概況

国内入域：

- ・空路は、9月については、シルバーウィークによる旅行需要の高まりに加え、中部・神戸・関西・成田発着の那覇線を中心とした増便などにより、前年を上回る見込みである。10月も夏ダイヤの増便効果が続く一方、一部路線では減便もあることから、全体では前年並みを見込む。11月からは冬ダイヤが本格化し、上期同様、増便・減便が混在する中、全体の提供座席数は前年並み。「首里城復興祭」や「正殿一般公開」などによる来訪需要も期待され、全体として前年並みを見込む。
- ・海路は、秋以降、那覇を起点としたフライ&クルーズなど国内発クルーズが設定されている。特に11月はMSC ベリッシマの東京発クルーズも予定されていることから、国内客数は前年を上回る見込みである。

海外入域：

- ・空路は、9月については、台北＝那覇線の増便や高雄＝石垣の新規就航により、台湾方面を中心に前年を大きく上回る見込みである。10月も夏ダイヤの増便効果に加え、冬ダイヤから台北＝那覇線が増便となることから、前年を大きく上回る見込みである。11月は、一部路線で減便・運休がある一方、台北＝那覇線やシンガポール＝那覇線の増便が寄与し、前年を大きく上回る見込みである。
- ・海路は、9月については、前年に多かった廈門発や香港発の寄港が見込めないことなどから、前年を大きく下回る見込みである。10月・11月も香港発や上海発などの寄港は予定されているものの、前年より寄港回数が少ないため、前年を下回る見込みである。

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（26年4月～8月実績、9月～11月見通し）

9月

空路

（国内）70.0万人（25年9月対比 102.7%）と見込む。

（海外）21.4万人（25年9月対比 123.6%）となる見通し。

高雄＝石垣路線

（新）タイガーエア：9月2日～10月21日 新規就航（週2便予定）

高雄＝那覇路線

チャイナエアライン：9月17日～ 週6便→週7便へ増便（デイリー）

海路

（国内）2,100人（25年9月対比 50.0%）となる見通し。

（海外）3.0万人（25年9月対比 33.8%）となる見通し。

寄港本数：19本（25年9月：34本）

海外クルーズ：10本（台湾/基隆、中国/上海）石垣港・平良港のみ寄港は3本。

国際定期貨客船：「やい丸」：9本（台湾/基隆）

10月

空路

（国内）72.6万人（25年10月対比 100.7%）と見込む。

（海外）21.9万人（25年10月対比 120.5%）となる見通し。

台北＝下地島路線

スターラックス航空：10月1日～24日 週3便→週4便へ増便（月・水・土・日）

台北＝那覇路線

JTA：10月25日～3月27日 1日1往復→2往復へ増便（デイリー）

台中＝下地島路線

スターラックス航空：10月25日～3月27日 週4便→週2便へ減便（水・土）

シンガポール＝那覇路線

スクート：10月25日～3月27日 週4便→週5便へ増便（月・水・木・土・日）

ドンムアン-台北-那覇路線

タイ・ライオン・エア：10月26日～3月27日 週4便→週2便へ減便（月・金）

海路

（国内）2,000人（25年10月対比 51.3%）となる見通し。

（海外）6.3万人（25年10月対比 79.5%）となる見通し。

寄港本数：20本（25年10月：33本）

国内クルーズ：5本（那覇発）

海外クルーズ：15本（台湾/基隆、香港、中国/上海・深圳、韓国/ソウル）

石垣港・平良港のみ寄港は5本。

11月

空路

（国内）66.4万人（25年11月対比 100.5%）と見込む。

（海外）20.8万人（25年11月対比 132.2%）となる見通し。

海路

（国内）6,600人（25年11月対比 366.7%）となる見通し。

（海外）5.5万人（25年11月対比 73.3%）となる見通し。

寄港本数：19本（25年11月：27本）

国内クルーズ：7本（東京・横浜・大阪発）

海外クルーズ：12本（台湾/基隆、香港）石垣港・平良港のみ寄港は7本。

（空路）国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの

海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

（海路）国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

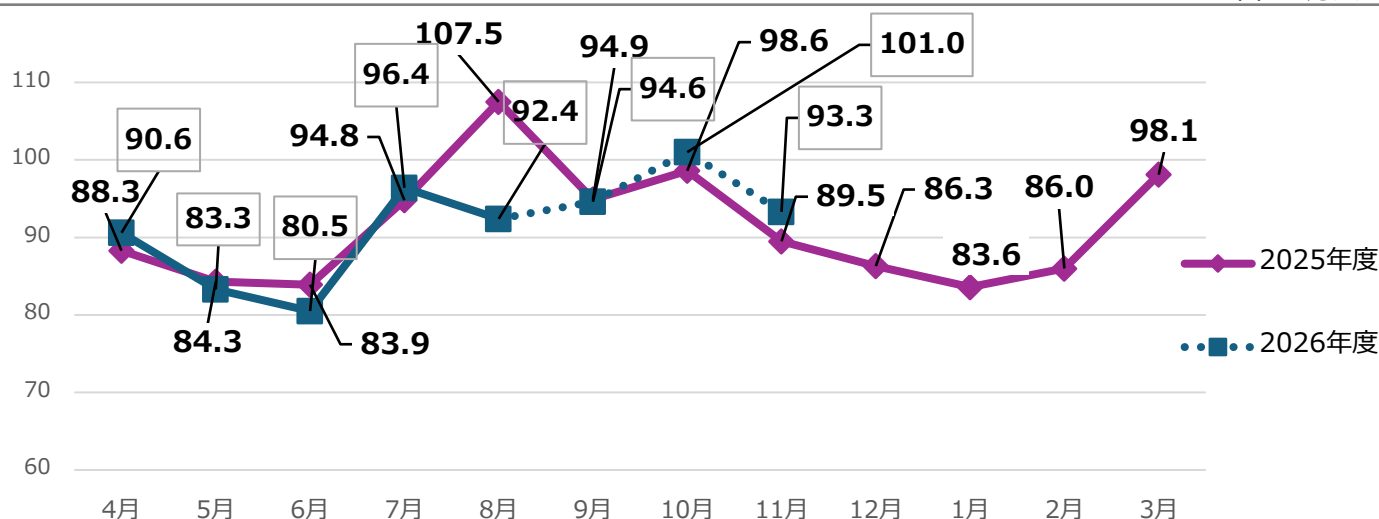
①入域観光客数概況について

2026年9月30日(水)
OCVB

2. 入域観光客数概況グラフ

入域観光客(合計)

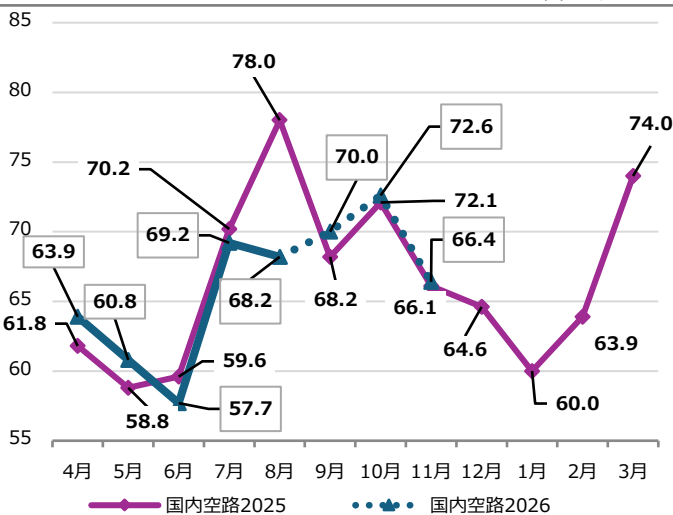
単位: 万人



入域観光客(空路)

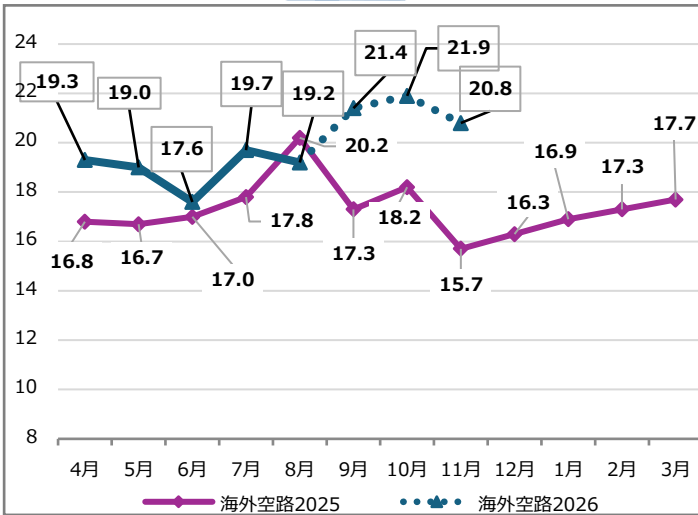
国内

単位: 万人



海外

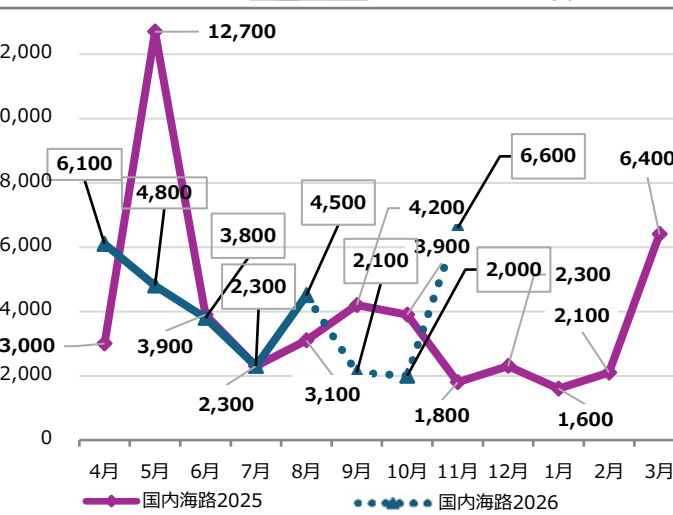
単位: 万人



入域観光客(海路)

国内

単位: 人



海外

単位: 万人

